

# 2023年度決算 説明資料

2024年5月23日

 朝日生命保険相互会社

# 目次

1. 2023年度決算報告のポイント	…p.2
2. 保険業績の状況	…p.3
3. 保障性商品の業績の状況	…p.6
4. 収支の状況	…p.8
5. 財務の状況	…p.10
6. 2024年度業績見通し	…p.12
【ご参考】前中期経営計画の達成状況	…p.13
【ご参考】新中期経営計画「ネクストA」	…p.14

# 1. 2023年度 決算報告のポイント

## 朝日生命グループ※の決算のポイント（※グループ：朝日生命+なないろ生命）

- **グループの保険業績（新契約）は366億円となり、前年度実績341億円を上回りました。**  
朝日生命単体では、192億円と前年度実績202億円を下回りました。  
なないろ生命では、一昨年度発売の商品と、昨年6月に発売した商品の販売が好調に推移し、174億円と前年度実績138億円を大きく上回りました。
- **グループの基礎利益は304億円となり、前年度と比べ241億円増加しました。**  
朝日生命単体では、新型コロナウイルス感染症によるみなし入院給付金の減少（＝保険関係損益の増加）や、外債の残高削減等を通じた為替ヘッジコストの減少（＝利差損益の改善）等により、前年度から289億円増加し、423億円となりました。  
なないろ生命では、事業規模拡大等に伴う事業費増加を主因として、前年度から48億円減少し、△118億円となりました。
- 逆ざや負担の軽減を通じ、お客様への保険金等の支払余力の向上等を図る観点から、463億円の追加責任準備金の積み立てを実施しました。

## 朝日生命の主な取組みについて（トピックス）

- **個人保険等について一部増配**  
新型コロナウイルス感染症の給付金支払いが落ち着き、今後も危険差益が安定的に推移する見込みであることから、医療保険を対象に増配。対象件数は約100万件・増配額は約6億円。
- **「初期介護一時金特約」を発売**  
2024年4月に、公的介護保険制度の「要介護1以上」と認定された際に一時金をお支払いする「初期介護一時金特約」を発売。



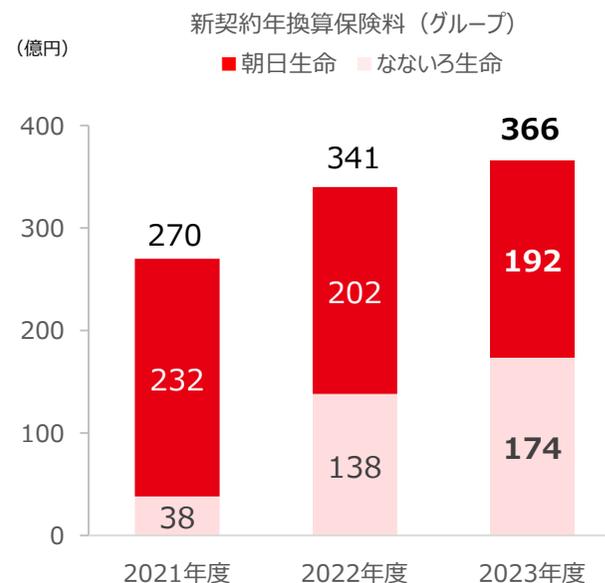
## 2. 保険業績の状況

### 新契約（個人保険・個人年金保険）

- ◆ 新契約年換算保険料(グループ)は、366億円となり前年度比107.4%と増加しました。うち第三分野についても329億円となり前年度比109.3%と増加しました。

#### 新契約の状況

区分	2021年度	2022年度	2023年度	
			前年度比	
新契約年換算保険料（グループ）	270億円	341億円	366億円	107.4%
うち 朝日生命※1	232億円	202億円	192億円	94.8%
うち なないろ生命※2	38億円	138億円	174億円	125.8%
うち 第三分野	231億円	302億円	329億円	109.3%



※ 1 2021年度実績については、9月までのなないろ生命分社化前の代理店チャネルの実績を含み、10月以降は含みません。次頁以降も同様です。

※ 2 「うちなないろ生命」の2021年度実績については、なないろ生命分社化後の10月以降の実績です。次頁以降も同様です。

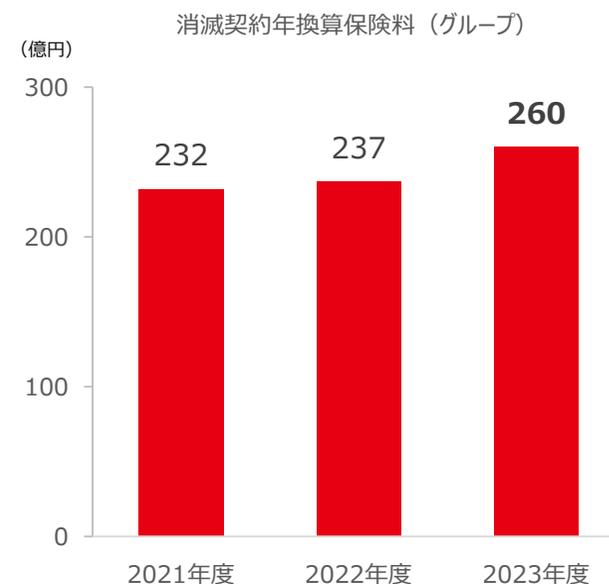
## 2. 保険業績の状況

### 消滅契約（個人保険・個人年金保険）

- ◆ 消滅契約年換算保険料(グループ)(解約+失効+減額-復活)は、新型コロナウイルス感染症の5類移行によるお客様ニーズの変化や物価上昇の影響により、260億円となり前年度比109.8%と増加しました。

#### 消滅契約の状況

区分	2021年度	2022年度	2023年度	
				前年度比
消滅契約年換算保険料（グループ） （解約+失効+減額-復活）	232億円	237億円	260億円	109.8%
うち 解約・失効契約	217億円	222億円	244億円	110.0%
対年度始消滅率	4.45%	4.65%	5.13%	+0.48ポイント



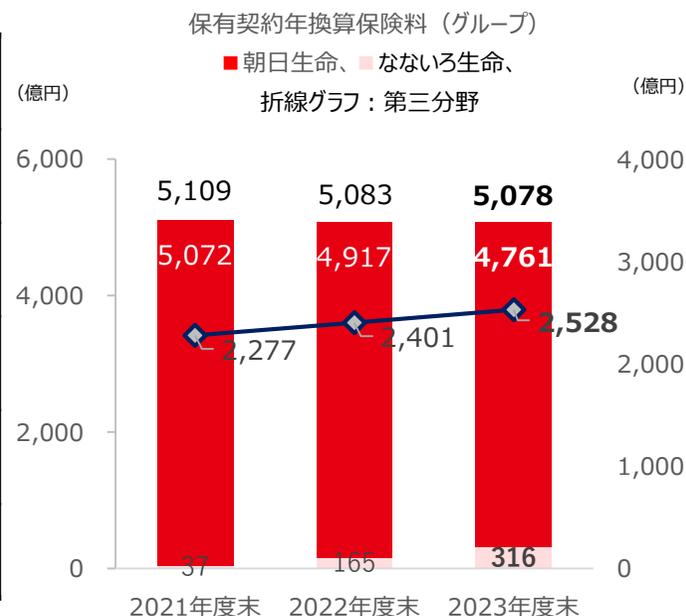
# 2. 保険業績の状況

## 保有契約（個人保険・個人年金保険）

- ◆ 保有契約年換算保険料(グループ)は、貯蓄性商品の保有減少等により、5,078億円と前年度末比99.9%となりましたが、うち第三分野については2,528億円となり、前年度末比105.3%と増加しました。

### 保有契約の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度末	
			前年度末比	
保有契約年換算保険料（グループ）	5,109億円	5,083億円	5,078億円	99.9%
うち 朝日生命	5,072億円	4,917億円	4,761億円	96.8%
うち なないろ生命	37億円	165億円	316億円	190.9%
うち 第三分野	2,277億円	2,401億円	2,528億円	105.3%



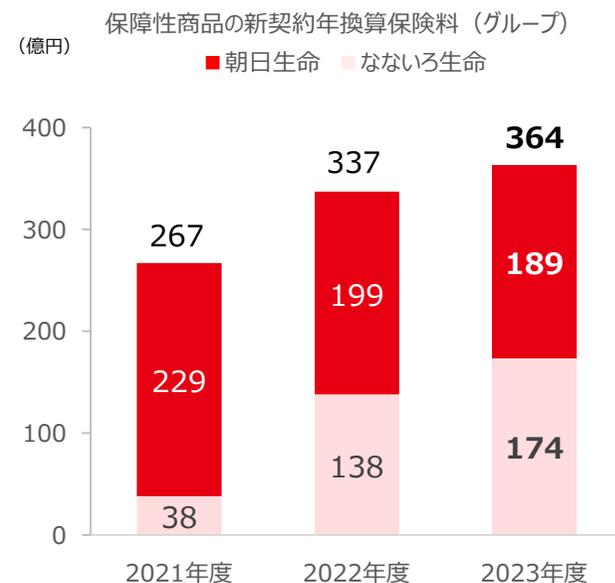
# 3. 保障性商品の業績の状況

## 保障性商品の新契約

- ◆ 保障性商品※の新契約年換算保険料（グループ）は、364億円となり前年度比107.9%と増加しました。朝日生命単体では新型コロナウイルス感染症の5類移行によるお客様ニーズの変化や物価上昇の影響により減少した一方、なないろ生命では一昨年度発売の商品と、昨年6月に発売した商品の販売が好調に推移したことから増加しました。

### 保障性商品の新契約の状況

区分	2021年度	2022年度	2023年度	
			前年度比	
新契約年換算保険料（グループ）	267億円	337億円	364億円	107.9%
うち 朝日生命	229億円	199億円	189億円	95.4%
うち なないろ生命	38億円	138億円	174億円	125.8%



※保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障等の第三分野の合計です。  
(代理店で販売している無配当団体医療保険を含む。)

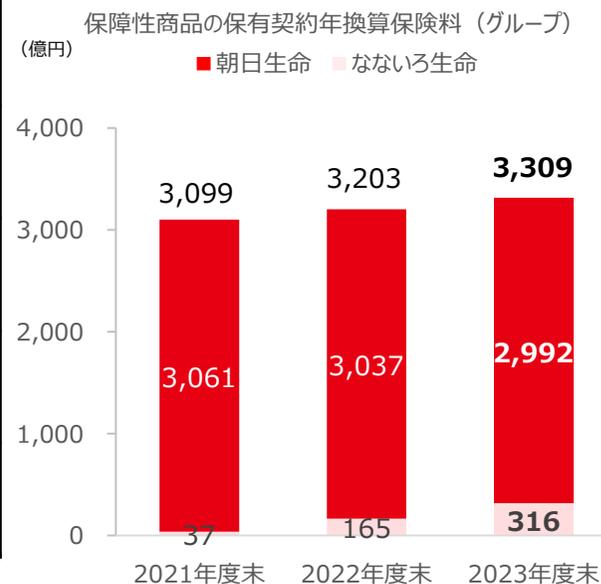
# 3. 保障性商品の業績の状況

## 保障性商品の保有契約

- ◆ 保障性商品※の保有契約年換算保険料（グループ）は、3,309億円となり前年度末差+105億円と増加しました。朝日生命単体では消滅増加の影響もあり若干減少しましたが、なないろ生命の増加幅がこれを上回り、グループ全体では増加基調を維持しました。

### 保障性商品の保有契約の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度末	
			前年度末差	
保有契約年換算保険料（グループ）	3,099億円	3,203億円	3,309億円	+105億円
うち 朝日生命	3,061億円	3,037億円	2,992億円	△45億円
うち なないろ生命	37億円	165億円	316億円	+150億円



※保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障等の第三分野の合計です。  
(代理店で販売している無配当団体医療保険を含む。)

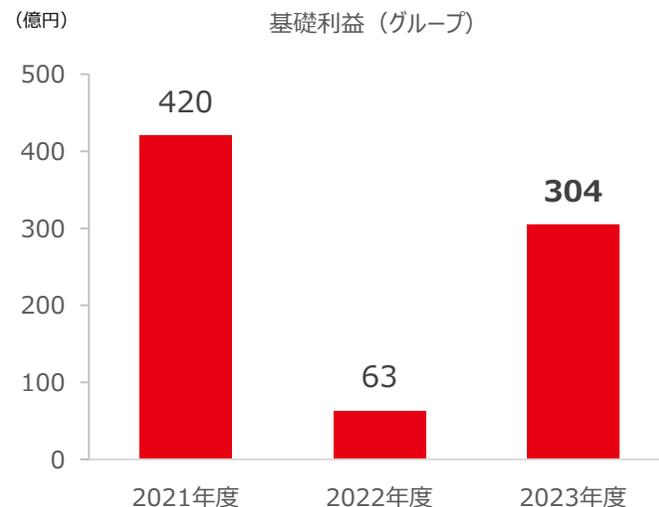
# 4. 収支の状況

## 基礎利益

- ◆ 基礎利益（グループ）は304億円となり、前年度と比べ241億円増加しました。
- ◆ 朝日生命単体では、新型コロナウイルス感染症によるみなし入院給付金の減少（＝保険関係損益の増加）や、外債の残高削減等を通じた為替ヘッジコストの減少（＝利差損益の改善）等により、前年度から289億円増加し、423億円となりました。
- ◆ なないろ生命では、事業規模拡大等に伴う事業費増加を主因として△118億円（前年度差△48億円）となりました。

### 基礎利益の状況

区分	2021年度	2022年度	2023年度	
				対前年度増減
基礎利益（グループ）	420億円	63億円	304億円	+241億円
うち 朝日生命	449億円	133億円	423億円	+289億円
保険関係損益	764億円	542億円	701億円	+159億円
利差損益（逆ざや額）	△315億円	△408億円	△278億円	+129億円
うち なないろ生命	△28億円	△69億円	△118億円	△48億円



# 4. 収支の状況

## <参考①> 保険料等収入の状況

区分	2021年度	2022年度	2023年度	
				対前年度増減
保険料等収入（グループ）	3,954億円	4,187億円	4,322億円	+134億円

## <参考②> 経常利益・親会社に帰属する当期純剰余の状況

区分	2021年度	2022年度	2023年度	
				対前年度増減
経常利益（連結）	239億円	97億円	54億円	△43億円
親会社に帰属する当期純剰余	196億円	115億円	57億円	△57億円

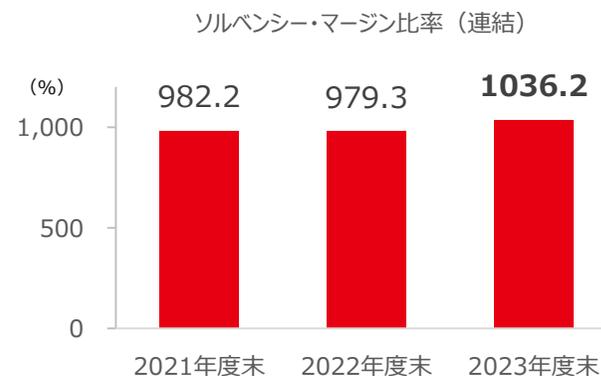
# 5. 財務の状況

## ソルベンシー・マージン比率とグループESR（経済価値ベースのソルベンシー比率）の状況

- ◆ ソルベンシー・マージン比率（連結）は、国内株価上昇・円安等に伴う、その他有価証券評価差額金の増加を主因に、前年度末から56.9ポイント上昇し、1,036.2%となりました。
- ◆ グループESR（経済価値ベースのソルベンシー比率）は、2023年度末で256.9%となりました。

### ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度末	
			対前年度末増減	
ソルベンシー・マージン比率（連結）	982.2%	979.3%	1,036.2%	+56.9ポイント



### グループESR（経済価値ベースのソルベンシー比率）の状況

グループESR（速報値）	グループESR	
	サープラス	統合リスク量
256.9%	13,003億円	5,060億円

※グループESRは、内部モデルによって算出した、統合リスク量（計測期間1年、信頼水準99.5%）に対するサープラスの比率です。

※当社では、グループESR、サープラス（経済価値ベースの純資産）、統合リスク量（経済価値ベースのリスク量）について、第三者機関による検証を受けています。

# 5. 財務の状況

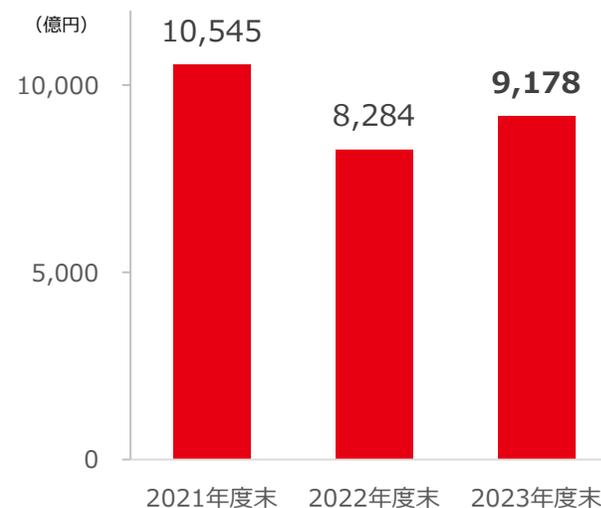
## 実質純資産額

- ◆ 実質純資産額(単体)は、9,178億円と前年度末に比べ、893億円増加しました。

### 実質純資産額の状況

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度末	
			対前年度末増減	
実質純資産額（朝日生命単体）	10,545億円	8,284億円	9,178億円	+893億円

実質純資産額（朝日生命単体）



<参考> 有価証券の含み損益の状況【一般勘定】  
(市場価格のない株式等および組合等を除く)

区分	2021年度末	2022年度末	2023年度末	
			対前年度末増減	
有価証券全体（朝日生命単体）	3,858億円	1,988億円	2,374億円	+385億円
うち 国内株式	2,463億円	2,586億円	3,561億円	+975億円
うち 国内債券	1,342億円	23億円	△1,283億円	△1,306億円
うち 外国証券	19億円	△625億円	△19億円	+605億円
うち その他の証券	13億円	△15億円	105億円	+121億円

# 6. 2024年度業績見通し

## 2024年度業績見通し（グループ）

- ◆ 保険料等収入は、朝日生命の第一分野の保有が減少する一方、なないろ生命の保有が増加し、前年同水準となる見込み。
- ◆ 基礎利益は、物価上昇等による事業費の増加を見込む一方、なないろ生命の収支改善を想定し、グループ全体では前年同水準となる見込み。

区分	2023年度実績	2024年度見通し
保険料等収入	4,322億円	横ばい
基礎利益	304億円	横ばい

※業績見通しは、現時点での環境認識に基づくものであり、今後の業績推移や市場動向等に応じて期中で変更の可能性があります。

# 【ご参考】前中期経営計画の達成状況

## 前中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」における経営戦略目標の達成状況

- ◆ 前中期経営計画の経営戦略目標について、グループお客様数・グループ保障性商品の新契約年換算保険料・グループ保障性商品の保有契約年換算保険料は目標を達成しました。
- ◆ グループ介護保険新契約件数については、若干未達となるも前年度実績を上回りました。

### 経営戦略目標の達成状況

	2023年度末の状況	2023年度目標
グループお客様数	292.9万名 (前年度末差+15.4万名)	280万名
グループ保障性商品の 新契約年換算保険料	364億円 (前年比108%)	350億円
グループ介護保険新契約件数	11.3万件 (前年比102%)	11.7万件
グループ保障性商品の 保有契約年換算保険料	3,309億円 (前年度末差+105億円)	3,300億円

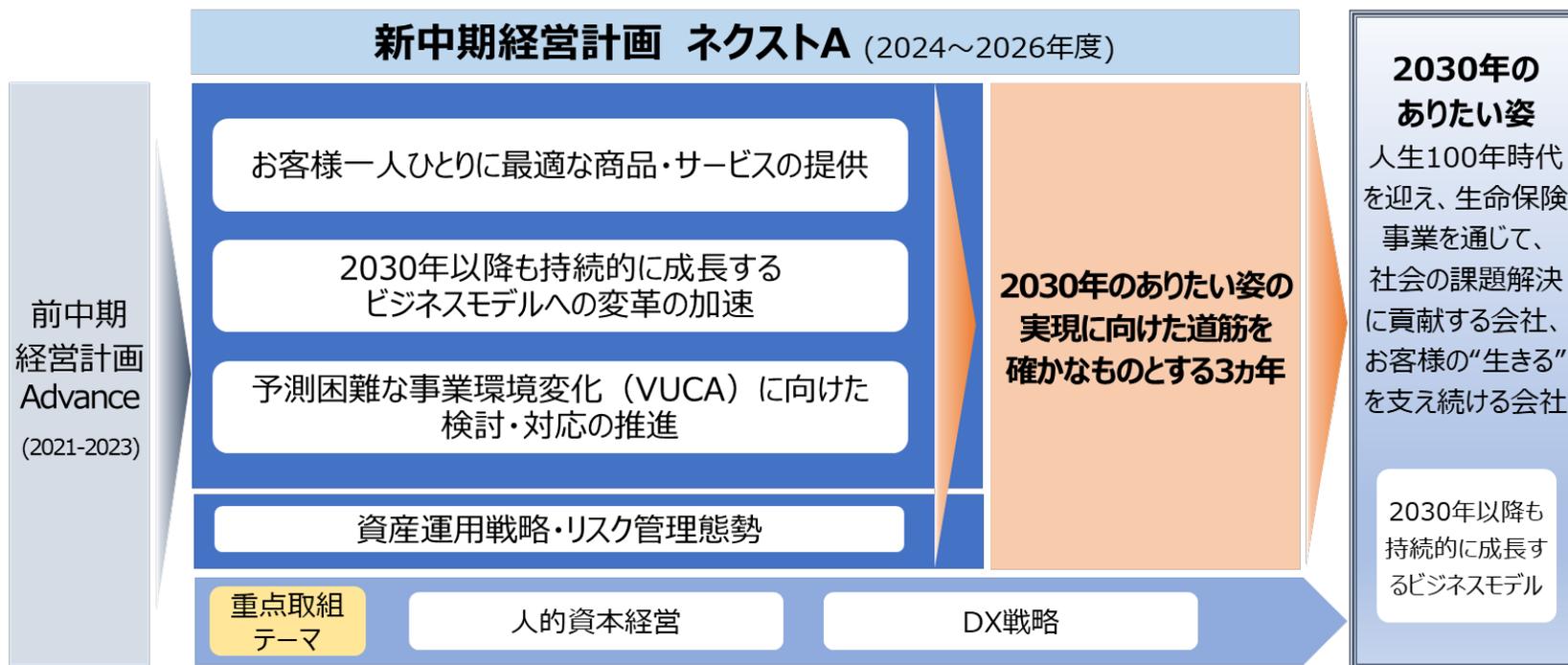
※保障性商品：保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障等の第三分野の合計です。  
(代理店で販売している無配当団体医療保険を含む。)

※グループ：朝日生命となないろ生命

# 【ご参考】新中期経営計画「ネクストA」

## 新中期経営計画「ネクストA」の概要

- ✓ 2030年のありたい姿を実現し、生命保険会社としての社会的な責任を果たし続けるため、新中期経営計画「ネクストA」を、「**2030年のありたい姿の実現に向けた道筋を確かなものとする3カ年**」と位置づける
- ✓ そのため、「**お客様一人ひとりに最適な商品・サービスの提供**」「**2030年以降も持続的に成長するビジネスモデルへの変革の加速**」「**予測困難な事業環境変化に向けた検討・対応の推進**」の3点を中心に取り組む



# 【ご参考】新中期経営計画「ネクストA」

新中期経営計画「ネクストA」における経営戦略目標

## 中期経営計画「ネクストA」の経営戦略目標

	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度末差
グループお客様数	296万人	306万人	314万人	+21万人
グループ保障性商品の新契約年換算保険料	370億円	375億円	385億円	+20億円
グループ保障性商品の保有契約年換算保険料	3,400億円	3,500億円	3,600億円	+291億円
グループESR※	220～260%			—

※経済価値ベースのソルベンシー比率(Economic Solvency Ratio)の略称であり、生命保険会社の健全性を表す指標。

## 2024年3月期決算 財務・業績の概況

2023年度決算（2023年4月1日～2024年3月31日）の概要は、以下のとおりです。

「単体」と表示のある項目は朝日生命単体を、「連結」と表示のある項目は連結対象子会社との連結実績を、「合算」と表示のある項目はなないろ生命との合計値をそれぞれ記載しております。

### ①-1) 契約の状況等(合算)

		2023年3月期	2023年9月期	2024年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	34,133 (+26.4)	18,300 (+9.4)	36,659 (+7.4)
うち第三分野	(百万円)	30,201 (+30.5)	16,519 (+11.6)	32,996 (+9.3)
保有契約年換算保険料	(百万円)	508,377 (△0.5)	507,218 (△0.3)	507,844 (△0.1)
うち第三分野	(百万円)	240,103 (+5.4)	246,025 (+5.4)	252,851 (+5.3)
保険料等収入	(百万円)	418,799 (+5.9)	213,016 (+3.8)	432,218 (+3.2)
うち個人保険分野	(百万円)	368,704 (+0.3)	184,101 (+0.9)	372,106 (+0.9)
うち団体保険分野	(百万円)	11,546 (+0.8)	5,556 (+3.5)	11,897 (+3.0)
保有契約高	(百万円)	13,332,761 (△6.6)	12,821,635 (△6.9)	12,434,994 (△6.7)
解約・失効年換算保険料	(百万円)	22,259 (+2.4)	13,253 (+12.3)	24,481 (+10.0)

\* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

\* ( )内は前年同期比増減率

\* 保険料等収入は損益計算書ベース

\* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

\* 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料

\* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）

### ①-2) 契約の状況等(単体)

		2023年3月期	2023年9月期	2024年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	20,259 ( - )	9,614 (△7.2)	19,203 (△5.2)
うち第三分野	(百万円)	16,328 ( - )	7,914 (△6.1)	15,758 (△3.5)
保有契約年換算保険料	(百万円)	491,779 (△3.0)	482,934 (△3.2)	476,154 (△3.2)
うち第三分野	(百万円)	223,504 (△0.2)	221,822 (△0.8)	221,366 (△1.0)
保険料等収入	(百万円)	379,223 (△2.0)	183,248 (△2.9)	367,279 (△3.1)
うち個人保険分野	(百万円)	358,809 (△2.1)	173,785 (△3.0)	347,620 (△3.1)
うち団体保険分野	(百万円)	11,546 (+0.8)	5,556 (+3.5)	11,897 (+3.0)
保有契約高	(百万円)	13,332,761 (△6.6)	12,819,671 (△6.9)	12,429,981 (△6.8)
解約・失効年換算保険料	(百万円)	21,343 ( - )	12,337 (+7.5)	22,330 (+4.6)

\* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

\* ( )内は前年同期比増減率

\* 保険料等収入は損益計算書ベース

\* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

\* 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料

\* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）

\* 2023年3月期の新契約年換算保険料、うち第三分野、解約・失効年換算保険料の前年同期比については、朝日生命がなないろ生命を分社化したことを踏まえ、「-」と記載しております

### ②-1) 資産の状況等(連結)

		2023年3月期	2023年9月期	2024年3月期
総資産	(百万円)	5,283,507 (△4.0)	5,261,174 (△1.1)	5,473,252 (+3.6)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	979.3	911.6	1,036.2

\* ( )内は前年同期比増減率

### ②-2) 資産の状況等(単体)

		2023年3月期	2023年9月期	2024年3月期
総資産	(百万円)	5,285,695 (△4.0)	5,269,317 (△1.0)	5,485,084 (+3.8)
実質純資産額	(億円)	8,284 (△21.4)	7,819 (△0.9)	9,178 (+10.8)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	933.0	868.5	994.5

\* ( )内は前年同期比増減率

③基礎利益・逆ざや・利回り等

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想
基礎利益(合算)	(百万円)	6,359 (△84.9)	30,477 (+379.3)	横ばい
基礎利益(単体)	(百万円)	13,357 (△70.3)	42,301 (+216.7)	減少

\* ( )内は前年同期比増減率

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想
逆ざや額(合算)	(億円)	408 (+93)	279 (△128)	減少
逆ざや額(単体)	(億円)	408 (+93)	278 (△129)	減少

\* ( )内は前年同期比増減実額

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り(単体)	(%)	2.15	2.39	横ばい
運用利回り(一般勘定)(単体)	(%)	1.53	1.97	横ばい
平均予定利率(単体)	(%)	3.13	3.07	低下

【基礎利益の内訳】(単体)

		2023年3月期	2024年3月期
費差損益	(億円)	△18	△46
危険差損益	(億円)	560	748
利差損益(逆ざや額)	(億円)	△408	△278

④準備金(単体)

		2023年3月末	2023年9月末	2024年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	4,206,794 (△80,384)	4,167,439 (△84,643)	4,162,967 (△43,827)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	4,180,246 (△78,606)	4,139,038 (△86,519)	4,132,201 (△48,045)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	26,548 (△1,777)	28,400 (+1,876)	30,765 (+4,217)
価格変動準備金	(百万円)	38,210 (△10,000)	39,290 (△10,180)	40,370 (+2,160)
危険準備金	(百万円)	63,109 (△14,779)	43,611 (△18,398)	43,181 (△19,927)
危険準備積立金	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)
価格変動積立金	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)

\* 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載

\* ( )内は前年同期比増減実額

⑤含み損益(単体)

		2023年3月末	2023年9月末	2024年3月末
有価証券	(百万円)	198,837 (△187,011)	156,628 (△3,820)	237,418 (+38,580)
うち国内株式	(百万円)	258,609 (+12,268)	315,148 (+108,485)	356,123 (+97,513)
うち国内債券	(百万円)	2,311 (△131,988)	△113,756 (△121,946)	△128,354 (△130,665)
うち外国証券	(百万円)	△62,525 (△64,503)	△48,517 (+4,071)	△1,971 (+60,554)
不動産	(百万円)	74,564 (+9,058)	74,627 (+8,830)	78,216 (+3,652)

\* 不動産の含み損益は国内不動産(土地・借地権)を対象とする

\* ( )内は前年同期比増減実額

\* 再評価後の水準を記載

⑥運用実績(単体)

		2023年度実績
国内株式	(百万円)	△5,907
国内債券	(百万円)	158,526
外国株式等	(百万円)	13,062
外国債券	(百万円)	△145,295
不動産	(百万円)	△8,211

\* 上記実績は、帳簿価額ベースでの増減を記載

⑦資産の含み損益がゼロになる水準(単体)

		2024年3月末
日経平均株価	(円)	12,600 円程度
TOPIX	(ポイント)	860 ポイント程度
国内債券	(%)	0.4 %程度
外国証券	(円)	138 円程度

\* 株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

\* 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出

\* 外国証券はドル円換算にて算出した為替要因のみの含み損益がゼロになる水準。なお、為替にかかるとヘッジ会計適用分を除外して算出

⑧-(1)2025年3月期の業績見通し(合算)

		2025年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	横ばい
保有契約年換算保険料	(百万円)	横ばい

⑧-(2)2025年3月期の業績見通し(単体)

		2025年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	若干減少
保有契約年換算保険料	(百万円)	若干減少

⑨職員数(単体)

		2023年3月末	2023年9月末	2024年3月末
営業職員	(人)	14,484 (+1.7)	14,528 (+1.5)	14,587 (+0.7)
内勤職員(朝日生命単体)	(人)	4,125 (+0.5)	4,222 (+0.5)	4,137 (+0.2)

\* ( )内は前年同期比増減率

⑩-(1)銀行窓販の状況(合算)

			2023年3月期	2024年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)
定額年金保険	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)

\* ( )内は前年同期比増減率

			2023年3月期	2024年3月期
一時払終身	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)
一時払養老	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)

\* ( )内は前年同期比増減率

			2023年3月期	2024年3月期
平準払商品	新契約件数	(件)	6,644 (+22.9)	3,714 (△44.1)
	金額(収入保険料)	(百万円)	820 (+18.1)	890 (+8.6)

\* ( )内は前年同期比増減率

⑩-(2)銀行窓販の状況(単体)

			2023年3月期	2024年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)
定額年金保険	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)

\* ( )内は前年同期比増減率

			2023年3月期	2024年3月期
一時払終身	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)
一時払養老	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)

\* ( )内は前年同期比増減率

			2023年3月期	2024年3月期
平準払商品	新契約件数	(件)	96 (-)	58 (△39.6)
	金額(収入保険料)	(百万円)	580 (△5.6)	548 (△5.6)

\* 平準払商品の収入保険料は、保有年換算保険料にて記載

\* ( )内は前年同期比増減率

\* 2023年3月期の新契約件数の前年同期比については、朝日生命がなないろ生命を分社化したことを踏まえ、「-」と記載しております

## その他質問項目(2024年3月期)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入の状況(単体)

		2023年3月期	2023年9月期	2024年3月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金繰入・戻入	(億円)	-	-	-

\*戻入額についてはマイナスで表示